学校番号	１０１０

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校改訂版世界史Ａ　（第一学習社）						
副教材等	明解世界史図説　エスカリエ　（帝国書院）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史は「暗記科目」とよく言われますが、大切なことは「今の世界の成り立ち」を知ることです。未来を見とおす力を歴史学習で身につけてください。また、歴史はドラマです。多くの人が悩んだり苦しんだり喜んだりしながら、歴史は進んできました。世界の歴史を知ることは、これからの国際社会を生きていく上で重要です。

２ 学習の到達目標

近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる人間としての自覚と資質を養う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界史へのいざない	・自然環境と歴史 ・日本列島のなかの世界の歴史	○	○	○	○	a:自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりに関わる主題を、関心を持って学習しようとしている。 b 自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながり:について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
2学期	世界の一体化と日本	・ユーラシアの諸文明 ・結びつく世界と近世の日本 ・ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 ・アジア諸国の変貌と近代の日本	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:ユーラシアの諸文明や国際関係の変化を日本の歴史と関連させ、意欲を持って学習しようとしている。 b:ユーラシア諸文明の特徴や各国との関係を現代に関連する出来事を多面的に考察してまとめる。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:ユーラシア各地に形成された諸文明と交流の特質について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
3学期	地球社会と日本	・帝国主義の時代 ・急変する人類社会 ・世界戦争と平和 ・三つの世界と日本の動向 ・地球社会への歩みと課題 ・持続可能な社会への展望	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:近代から現代にかけての社会の変化を日本の歴史と関連させ、関心を持って学習しようとしている。 b:近代から現代にかけての社会の変化を日本の歴史と関連させ多面的・多角的に考察しその過程や結果を適切に表現している。 c:近代から現代にかけての社会の変化を日本の歴史と関連させ事例の考察に必要な諸資料を収集し有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:、近代から現代にかけての社会の変化を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。